

良心の自由 守られていますか？

「日の丸・君が代」を考える市民の集い に参加しよう！

「国旗・国歌法」が制定されて初めての卒業式では、日本中の小中学校、高等学校で日の丸の掲揚と君が代の斉唱が、教育委員会の強い指示のもとで強行されました。そうなるであろうことは予想されたことですが、学校長は教職員の意向を尊重するのか、教育委員会の指示に絶対服従するのかが問われる試験台に立たされたわけです。また、指導に当たる教職員は、自らの良心に従うのか、権力の強制に屈するのかの岐路に立たされたのです。国民世論の動向を無視した、性急な立法化が、学校現場に大きな困難をもたらしています。憲法19条は「思想及び良心の自由は、これを侵してはならない」と規定しています。このような認識の食い違いの中で指導を受ける生徒たちは、どう受け取っているのでしょうか。強制の中でも自らの良心に従った学校長や教職員もあったことが報道されています。私たち市民は、このような現実をどのように考え、どう対処したらよいのか考えてみようではありませんか。

3/16 朝日

信念の卒業式

平和説く校長

教員 平吹 まり子

(東京都府中市 48歳)

君が代・日の丸が国歌・国旗と定められたことで、今年度の卒業式では、多くの学校で反対を押し切る形で斉唱、掲揚されたことが報道された。

この十日、私の息子も都立高校を卒業した。卒業式に先立って、どんな内容になるのか校長先生に電話を入れたところ、「君が代、日の丸はやりません」と明確に下された。しかし、昨今の厳しい情勢を知るにつけ、にわかには信じられないまま当日に臨んだ。

その日、校長先生の言葉通り、学校では日の丸も君が代もなかった。校長は式辞の中で、今日は東京大空襲があった日で、平和を願う日であること、戦火の中を逃げ回るような体験は二度と繰り返してはならないと話された。

そして、戦前の京都大学での思想弾圧事件・滝川事件を例に、自由が奪われる

ことがないように思っ  
 て教師の道を選んだと話され  
 た。君たちが好きな服装を  
 しているのも、自由が守ら  
 れているからとさだかとい  
 う意味の話もされた。

二十世紀を担う子ども  
 たちに、本当に愛情を傾  
 け、教育者としての信念が  
 伝わる素晴らしい式辞だっ  
 た。退場する生徒たちの表  
 情も、耐れやかだった。教  
 育者としての信念を貫き、  
 君が代・日の丸と無縁の卒  
 業式を行ってくれた校長先  
 生と教職員が、ちゃんとお  
 られることに感謝した。

沖縄名護 米軍基地建設反対  
 支援のカンパを募集しています  
 1口 1,000円  
 県平和委員会から 黒糖  
 土浦平和の会から 沖縄リーフ  
 を無料でサービスしています。

行事ごよみ

- 3・16 日の丸・君が代集会実行委員会
- 3・20 憲法ミュージカル土浦準備会 (けんちん亭)
- 3・23 憲法パネル作成委員会
- 3・26 県平和委理事会 (石岡)
- 4・8 日の丸・君が代を考える市民のつどい  
つどいの後 土浦革新懇総会 (ワークヒル)
- 4・11 土浦平和の会理事会 (1中地区公民館)
- 4・16 県平和委常任理事会 (水戸平和会館)

① 憲法改悪反対意見広告

5月3日 朝日新聞に掲載

個人 1口 1,000円

団体 1口 3,000円

〆切 4月15日

取扱団体 茨城県平和委員会

土浦平和の会でも扱っています